

岐阜東部広域水道圏における県営水道と市町の水道広域化(主な施設の共同化検討案)

【現状・課題】

- 人口減少に伴う料金収入の減少
- 施設の老朽化に伴う更新需要の増大により、経営環境が悪化

広域化

【効果】

- 経営の効率化として、県営水道と市町の共同整備により、浄水場を13箇所から4箇所に集約することで、費用の低減を図る。
- 危機管理の強化として、災害や事故時にも対応できるよう、バックアップ可能な新浄水場を整備し、ネットワークを強化する。あわせて、浄水場の大規模改修を順次行うことで、長寿命化を実現し、更なる費用の低減を図る。

令和3年度 (実績) 一日最大送水量 約16.3万m³/日
一日平均送水量 約15.2万m³/日

令和14年度 (推計) 一日最大送水量 約15.2万m³/日
一日平均送水量 約13.9万m³/日

